



横浜市立市民病院

こころ

第23号

2018.4 発行

横浜市立市民病院だより



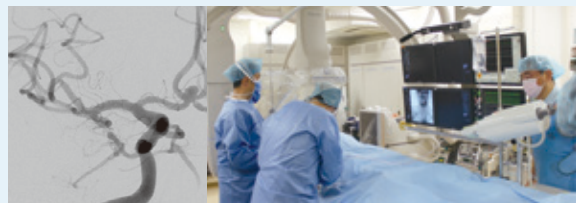
種名:モルモット | 写真提供:公益財団法人 横浜緑の協会

Contents

特集 脳血管内治療科 紹介

治療法／代表症例／増尾 修医師の紹介

P1.2



P3

市民病院からのお知らせ

霧笛楼 × 横浜市立市民病院 共同企画
「野菜生まれの横浜育ち。」

スープ・ドゥ・レギューム誕生。」



- イベント紹介4
- 市民病院再整備事業5
- 登録医療機関をご紹介します6
- おすすめレシピ7
「スープ・ドゥ・レギューム」
- 病院長コラム8



特集

脳血管内治療科 紹介

当院では、新たに平成30年1月から、日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医である、増尾医師を迎え、「脳血管内治療科」を設置しました。さらに、平成30年4月には1名増員され、日本脳神経血管内治療学会指導医1名、専門医1名の2名体制となることも決まっております。今後急性期治療のみならず、脳主幹動脈狭窄、閉塞疾患、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻をはじめ、脳血管内治療を必要とするすべての疾患に対応し、個々の病気に応じた最良の治療を提供いたします。

そこで、今回の「こころ」では、脳血管内治療と増尾医師について、ご紹介します。



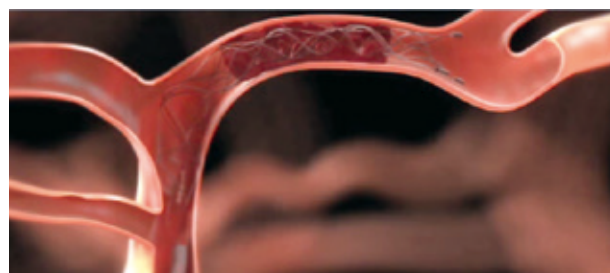
脳血管内治療とは？

頭を切らずにカテーテルという細いチューブを血管の中に入れ、脳の血管の病気を治す治療法です。今や脳卒中治療において、内科的治療および外科的治療に加えて、この脳血管内治療は、欠かせない治療法となっており、今でも使用する機材、それを使用する治療法自体が日進月歩で進化し続けています。以下に脳血管内治療で治療すべき主たる疾患について解説します。

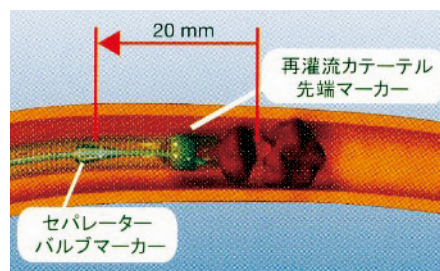


急性期脳梗塞に対する 血栓回収療法

主として心房細動など不整脈が原因で脳の太い血管が詰まる病気を心源性脳梗塞といいます。脳自体は血流不足に非常に弱いために、



▲ステントリトリバー



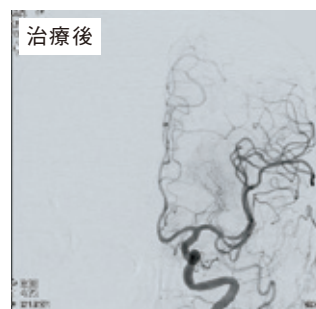
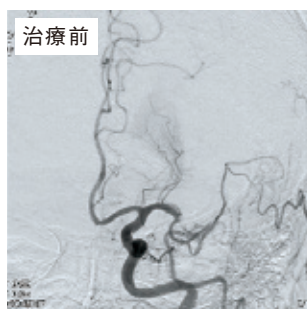
▲ペナブラシステム

治療は1分1秒を争います。今まで当院では同疾患に対しては、アルテプラゼ（市販）という血栓溶解剤による治療を行っていましたが、今後救急部、脳神経外科、神経内科との密な連携の上、積極的に脳血管内治療による血行再建術を併行して取り入れていきます。現在詰まった血管の血栓を取り除き、血流を再開できうる高性能な機材が使用可能となっており、主としてステントリトリバー（右上図）と掃除機のように血栓を吸い取るペナブラシステム（右下図）があり、当院では両方の機材を駆使して再開通を目指します。現在患者様が病院に搬送されてから少しでも早く治療できるよう時間短縮のための院内体制を整えています。



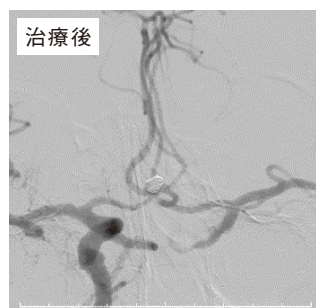
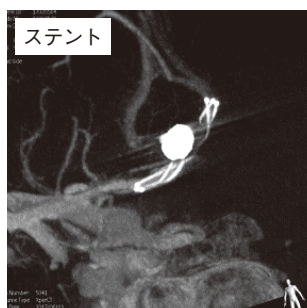
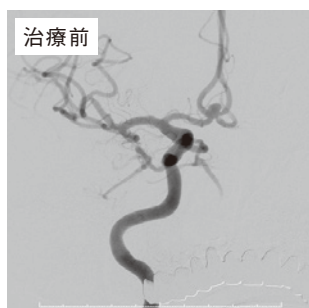
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術

脳動脈瘤はいわば、血管の分かれ道のところにできた「血管のこぶ」です。壁が薄くなり破れるとくも膜下出血という重篤な病気を発症します。まだ破裂せずに見つかった「こぶ」を未破裂脳動脈瘤、破裂してくも膜下出血をきたした「こぶ」を破裂脳動脈瘤といいます。治療は、この動脈瘤の中に細いカテーテルを挿入して、プラチナ製のコイルを詰め、動脈瘤内への血流の流入を防ぎ、破裂を防ぎます。コイルがしばしば血管側に逸脱することがあり、これを防ぐために風船やステントという「金属の管」を留置することもあります。



代表症例

71歳女性。左中大脳動脈閉塞症。CTA静注両方と併行し、発症より175分、血管内治療開始より30分で完全再開通し、発症後10日目に独歩退院。（上左図治療前、上右図治療後）。



代表症例

75歳女性、未破裂前交通動脈瘤。ステント併用コイル塞栓術にて治療。術後5日で独歩退院。治療1年の時点で再発なし。（上左図：治療前、上中央図：ステント、上右図：治療後）

近年、動脈瘤の存在する場所や大きさでかなり限定されませんが、最新の治療法として「フロードイバーター留置術」があります。ただし、治療自体がかなり習熟した技術がいるため、現在日本では関連する学会が認めた35医師（神奈川県では2医師）のみに使用許可されており、私もその1人として認められております。現在5名の患者さんに使用し、良好な結果を得ています。

前記疾患は脳血管内治療の適応となるごく一部の病気です。

なお、3月10日には、市民公開講座を開催して、各症例について、もう少し詳しく説明いたしました。当日の様子は、4ページの「イベント紹介」をご覧ください。

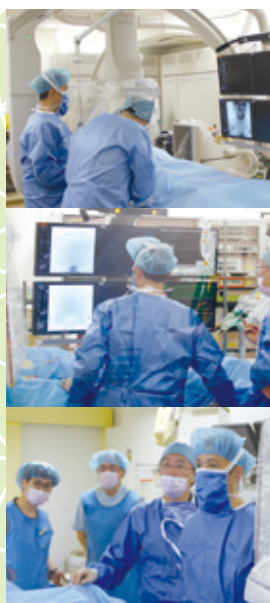
自己紹介

脳血管内治療科科長

増尾 修



私は、前任地である和歌山県立医科大学を主として、今まで、500例あまりの脳血管内治療に携わってきました。今後、脳神経外科、神経内科との密な連携のもと、脳卒中チームとして、当院での治療に携わっていきます。上記疾患で治療が必要といわれている方、治療をすべきかどうか悩まれている方あるいは他院で治療は困難といわれたことのある方は是非一度受診してください。一人ひとり、丁寧に説明し、どうするのをもっともいい選択なのか一緒に考えていきましょう。



略歴 取得資格

- ・平成5年 和歌山県立医科大学卒業
- ・平成11年 和歌山県立医科大学大学院卒業
- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本脳卒中学会専門医
- ・日本脳神経血管内治療学会専門医、指導医
- ・昭和大学藤が丘病院脳神経外科 客員教授

野菜生まれの 横浜育ち。

スープ・ドゥ・レギューム 誕生。



試作の様子



監修 / 調理指導



特定非営利活動法人
横浜ガストロノミ協議会 理事長
霧笛楼 取締役・総料理長

今平 茂 氏

「入院中にこそ、
おいしいものを
食べてほしい。」



※イメージ

そんなシンプルな気持ちから、横浜のフランス料理店「霧笛楼」と横浜市立市民病院が共同で「スープ・ドゥ・レギューム」を開発しました。

レギュームとはフランス語で「野菜」という意味です。

植物性の食材だけを使用し、丁寧に煮出すことで素材の旨みが凝縮された、体にも心にも優しい味に仕上がりました。

平成 29 年 11 月 13 日（月）から、手術や病状により絶食が続いたあと、流動食・3分粥食で食事開始になる方を対象に、提供しています。

ふたを開けたときの香りとともに、お召し上がりいただいております。

多くの患者さんからご意見・ご感想をいただきました。一部をご紹介します！



病院では
このように
お出ししています。

香りがとても良く、最初の一口は
「うすい」と感じましたが
2口、3口と口にしていくなにつれ、
お野菜の味が良くわかり、
おいしかったです。

とても優しい味で
おいしかったです。
お腹の調子が悪い時に
安心して飲める
スープでした。

闘病中に一点の光明が
差したような美しい
おいしさでした。
ありがとうございます。

動物のだしを使わずに、
この味なのは健康的で
療養中には
非常に良いと思う。

とてもおいしかったです。
3日間の絶食の後ですので
口と心にしみていやされました。
ありがとうございます。

とても飲みやすく、
食欲が湧いてきました。
ごちそうさまです。
明日も飲みたいです。

スープの作り方（レシピ）は最後のページに掲載しています。
ご興味のあるかたは、ぜひ作ってみてください！



おすすめレシピ 特別編

体験型 市民公開講座



「現場で学ぶ 認知症・心不全・薬の話」 を開催しました！

7月29日に開催した子供向け体験型市民公開講座「一日メディカルパーク 2017」に引き続き、1月27日に大人向け体験型市民公開講座「現場で学ぶ 認知症・心不全・薬の話」を開催しました。

当日は、厳しい寒さの中、多くの方に参加していただきました。市民病院を会場に、当院医師による講義の後、参加者は、実際に認知症検査や予防体操等を行いました。

参加者の方から、「いろいろと楽しく学ばせていただき、また参加したいと思いました。」「スタッフのみなさんの熱意が伝わる良い企画、講座でした。」等の声をいただきました。ありがとうございました。



市民公開講座



「進化する肺がん治療」を開催しました！



2月24日に、県民共済みらいホールにおいて、市民公開講座「進化する肺がん治療」を開催しました。

本講座の第1部では、当院の肺がん治療センターで実施されている、外科的治療や放射線治療、薬物療法など、多岐にわたる治療分野についての最新治療法や研究の紹介をしました。第2部では、湘南ベルマーレフットサルクラブの選手で、肺がん医療患者広報大使も務められている久光重貴氏より、前向きに治療を受けることや、がんに対する想いを伝えてもらい、多くのがん患者の方を勇気づけていただきました。

今回の公開講座では定員を超える多数の応募があり、盛況のうちに開催することができました。これからも当院がんセンターでは、がんやがん検診啓発を目的に、市民向けの公開講座を企画していきますので、ぜひご参加ください。



市民公開講座



「最新の脳卒中治療 いつまでも元気でいるために」 を開催しました！

「特集」ページでもご紹介しましたが、当院では、1月から新たに「脳血管内治療科」を設置しました。血管内治療とは、頭を切らずに脳の血管内に入れたカテーテルを駆使するもので、内科的治療、外科的治療とともに脳卒中の治療には欠かせない治療法です。市民の皆様へ、当院での新たな脳卒中の治療方法や予防について、広く知ってもらうために3月10日に市民公開講座を開催しました。参加者の方から、「大変参考になりました。ありがとうございました。」等の声をいただきました。当院では、これまで以上に、患者さん個々の病気に応じた治療を提供していきます。



●市民病院再整備事業の進捗報告●

診療棟の建設工事が進行中です

◆樹木の移植をしました。

建設地の一部は三ツ沢公園の野球場だったところで、バラや桜などの樹木がありました。バラについては、既に三ツ沢公園内花壇広場などに移植され、その他の樹木は、樹木医の診断に基づき、移植を行っています。新しい病院には、移植された樹木も含めて、これまで以上の本数の様々な樹木を植え、緑あふれる環境をつくってまいります。



樹木の移植

🌳🌳🌳 新しい病院周辺の緑のイメージ



コンビニ・カフェ・レストラン前



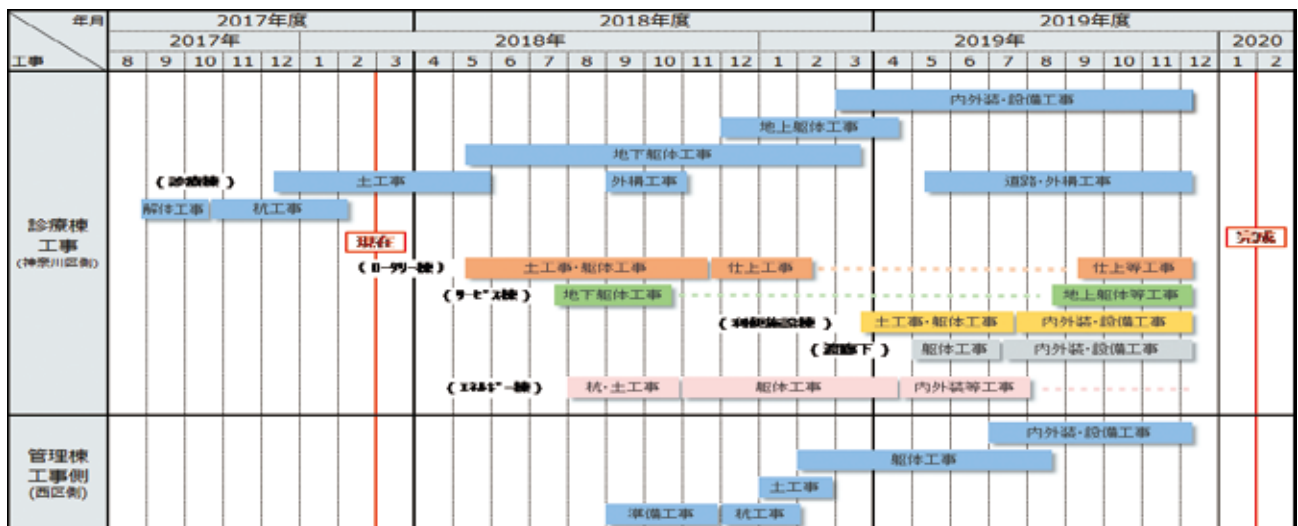
ニッパツ三ツ沢球技場入口近く



バス通り側の散策路

◆今後の工事スケジュールについて

昨年9月から着工している診療棟工事については杭工事を2月初旬に終了し、3月は、土の掘削や山留といった土工事を行っています。2018年度（平成30年度）末には躯体（建物の骨組みや壁部分）工事が概ね完了する予定です。また、平成30年度後半には医局や事務室等が入る管理棟の建設に着工します。



新病院は2020年開院予定です。

市民病院再整備事業のWEBページへは

横浜市立市民病院 再整備 で 検索 またはQRコード読み取り▶



新病院イメージ動画公開中！



旭 区 左近山中央診療所



福村 正 院長

【診療科目】

内科	小児科
整形外科	眼科
リウマチ科	耳鼻咽喉科

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
小児科	14:00～17:00	○	○	○	○	○	—
整形外科	9:00～12:00	—	—	—	—	—	—
	14:00～17:00	—	○	○	—	—	—
耳鼻咽喉科	9:00～12:00	—	—	—	—	—	—
	14:00～17:00	○	○	○	○	○	○
眼科	9:00～12:00	—	—	—	—	—	○
	14:00～17:00	○	—	○	—	—	○

休診日：日曜日・祝日 ※眼科、耳鼻咽喉科は急な休診の可能性あり



〒241-0831
横浜市旭区左近山 16-1
左近山団地 1-35-102
TEL 045-351-4011
URL: <http://sakonyama.net/>

旭 区 小関産婦人科医院



小関 聡 院長（一番左）と
スタッフの方々

【診療科目】

産婦人科	内科
------	----

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
14:30～17:00	○	—	○	—	○	—

休診日：火・木・土 午後、日曜日・祝日 ※火曜日は 11:00 受付終了

当院は相鉄線二俣川南口駅前で、産婦人科と内科の外来診療を行っております。

産科は妊婦健診のみを行い、横浜市内で幅広く行われている産科セミオープンシステムを取り入れ、市民病院をはじめ多くの分娩を取扱う医療機関と親密な連携を行っております。かつて分娩を行っていたのでその広いスペースを生かし、空間的に十分な余裕を持った環境で診療を行っています。

婦人科は小児期・思春期から更年期・閉経後と幅広く扱い、そこに一般内科も含め女性の一生の総合的健康管理のお手伝いをしております。内科には風邪や消化器疾患、高血圧や高脂血症などのご家族ぐるみの受診も多く、かかりつけ医としての診療や相談を行っております。



※現在駅前再開発中 4月竣工
〒241-0821
横浜市旭区二俣川 2-62-7
TEL 045-363-0660
URL: <http://www.koseki-lc.jp>

本号3ページでご紹介した、霧笛楼と市民病院で共同開発したスープのレシピです。手術やご病状によりしばらくお食事をされていなかった方はもちろん、どなたにもお勧めです。

スープ・ドウ・レギューム

[材料] 出来上がり量約3.5ℓ分

玉ねぎ	中2個
にんじん	中1本
セロリ(茎の部分)	1/3本
トマト	中1/3個
キャベツ	中1/4個
ホワイトマッシュルーム	6個
昆布	4cm 角1枚
干しシイタケ	1枚
ローリエ	小1枚
水**	5ℓ
塩	お好みで

**水道水でも構いませんがミネラルウォーターや浄水器を通した水の方が、より食材の旨味を引き出すことができます。



作り方

1. 玉ねぎ、マッシュルームは繊維にそって、にんじん、セロリ、キャベツ*は繊維に対して直角に5mmくらいの少し厚めに、トマトは1cm角くらいにカットして、干しシイタケは手で軽く割る。
(※キャベツは芯の部分も一緒に使うと甘みがより濃くなります。)
2. 1.の材料と昆布、ローリエ、水を一つの鍋に入れて強火にかける。
3. 沸騰してきたら、アクをよくすくい、弱火にしてフツフツ(ポコポコ)と軽く沸いてくる状態を保ち、アクが出てきたらまめにすくい、1時間30分ほど煮る。
4. 火を止めたら、30分間室温に置き(浸透圧でまろやかにさせるため)、こす。
5. 塩で味を調える。参考: スープ1ℓに対して塩小さじ1杯程度(0.6%)

ワンポイントアドバイス

まとめて作って冷凍保存が可能です。そのままお召し上がりいただく他に、ポタージュのだし汁、鍋物や湯豆腐のだしにも使えます。



(盛り付け例)

耳寄り情報!

ホームページでも健康レシピを掲載しています!

横浜の名店シェフと市民病院がコラボして、プロの料理を家庭でも作りやすいように、わかりやすく紹介しています。あわせて栄養士のアドバイスとシェフのコラムも掲載しています。是非ご覧ください。

アクセス方法: <http://yokohama-shiminhosp.jp/introduction/recipe.html>

もしくは、「横浜市立市民病院」→「病院のご紹介」→「ハマの名店とコラボ(健康レシピ・野菜スープ)」→「健康レシピ」



病院長コラム



病院長 石原 淳

4月に入り寒さも和らぎ温かい日が多くなってきました。本年度も当院では医師・看護師をはじめ、多くの新たなスタッフを迎えます。当初は院内のご案内などに不慣れな点もあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、特集でも紹介させていただきましたが、1月に「脳血管内治療科」を新設しました。脳血管内治療は、今や脳卒中などの治療の選択肢として欠かせない治療法です。神経内科や脳神経外科と緊密に連携し、患者さんの病態に応じた治療法を提供します。他の診療科においても診療領域・機能を拡充していますので今後順次ご紹介いたします。

また、当院では、市民の皆様は病気を正しく理解していただき、高度急性期病院としての当院の機能をさらに知っていただくために、公開講座を開催しています。病院ホームページやチラシでお知らせしますので、講座内容に関心を持たれた方は是非ご参加ください。